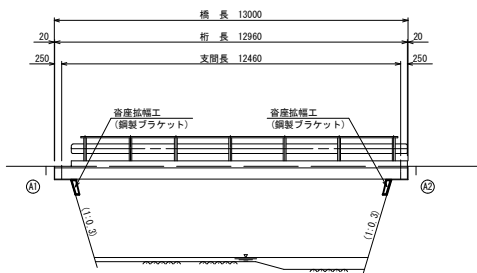
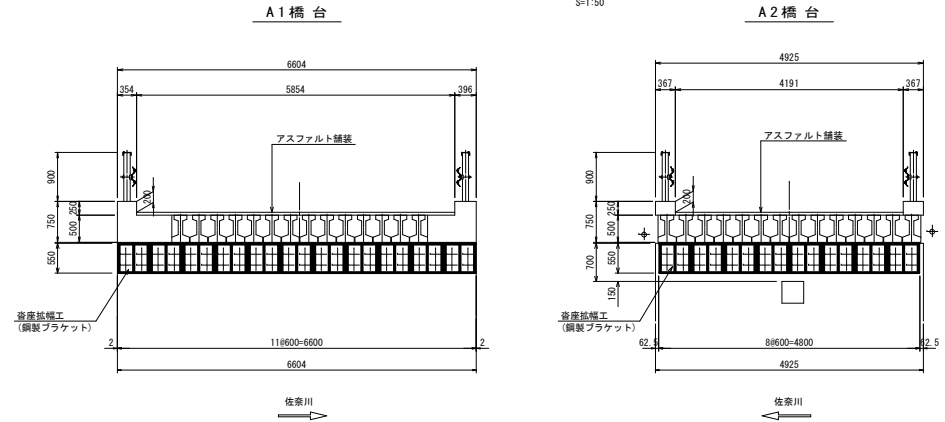


松本橋 耐震補強一般図

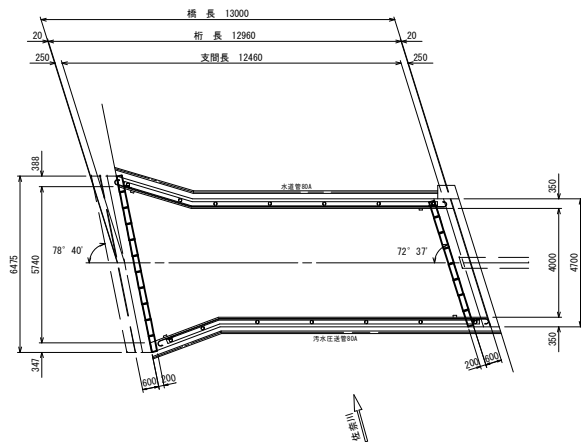
側面図
S=1:100



正面図
S=1:50



平面図
S=1:100



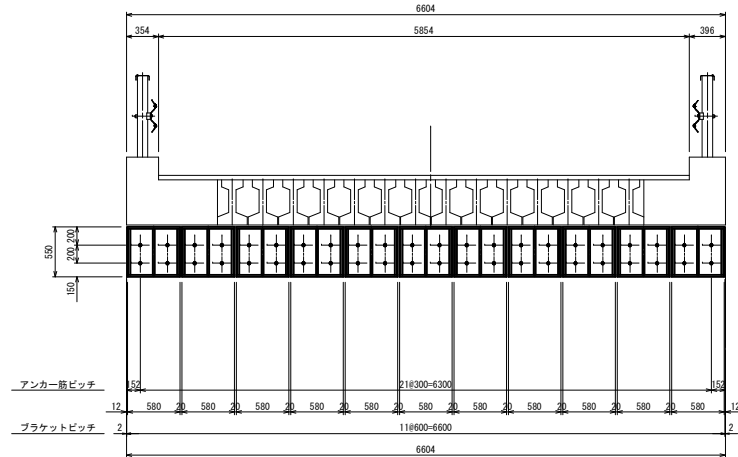
設計条件

橋	橋	-
上	上部工形式	PC床版
L	橋	橋長 13.000m
	桁	桁長 12.960m
	支	支間長 12.460m
	間	全幅員 4.700~6.475m
H	有	有効幅員 4.000~5.740m
	斜	A1橋台 78° 40'
	角	A2橋台 72° 37'
F	舗	アスファルト舗装
	支	ゴム支承
H	橋	重力式(推定)
	基	-

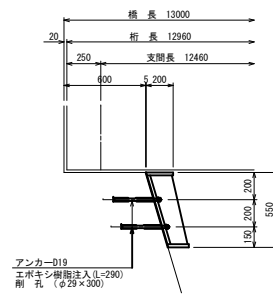
工事名	平成30年度 社会資本整備総合交付金事業 松本橋 橋梁修繕耐震補強工事		
図面名	耐震補強一般図		
年月日			
尺度	図示	図面番号	6 葉之内 1
会社名			
事務所名	多気町		

A1橋台沓座拡幅詳細図

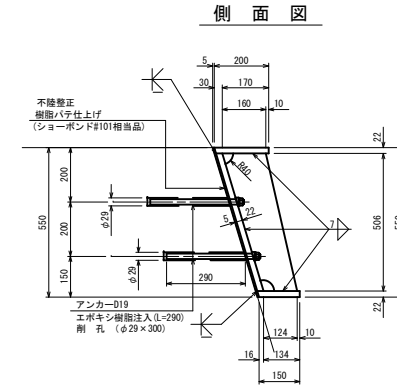
正面図
S=1:30



断面図
S=1:20

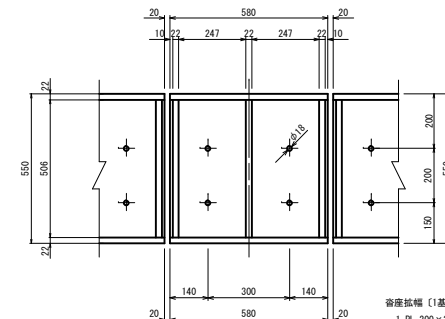


鋼製ブラケット詳細図
S=1:10



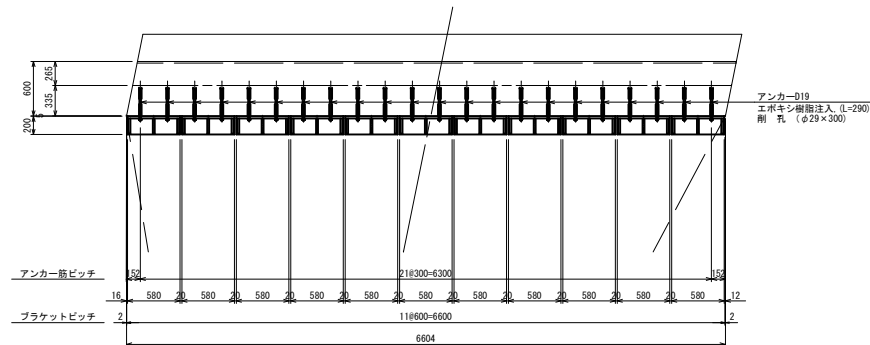
側面図

沓座拡幅詳細図
B=580

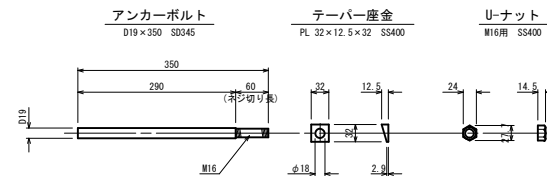


沓座拡幅 [1基当り] N=11基
 1-PL 200×22×580
 3-PL 275×22×506
 1-PL 157×22×580
 1-PL 580×22×535
 4-Arc Bolt D19×350 (S3045, NH付)

平面図
S=1:30



アンカーボルト詳細図
S=1:5

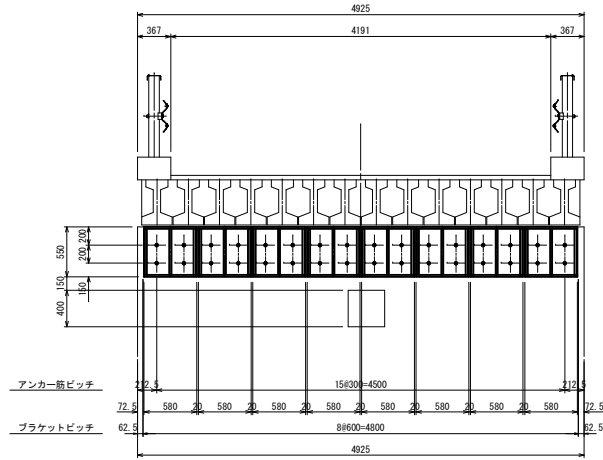


- 注) 1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 鋼材は全て溶融亜鉛メッキを施すこと。
 ただし、アンカーボルトはネジ部のみとする。
 付着量は、鋼材 JIS5641 HDZ55
 アンカーボルト, Nut, Washer JIS5641 HDZ55
 3. ブラケットの取付及びアンカー孔の位置については、
 現場再確認後、調整すること。
 4. 施工にあたっては事前に鉄筋探査を行い、鉄筋を切断
 しないようにすること。
 5. アンカー筋は、150以上の定着長を確保すること。
 6. () 内は、参考値とする。

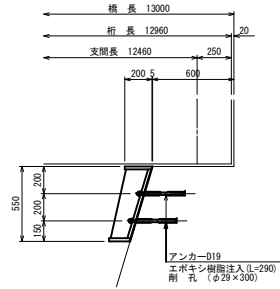
工事名	平成30年度 社会資本整備総合交付金事業 松本橋 橋梁修繕耐震補強工事		
図面名	A1橋台沓座拡幅詳細図		
年月日			
尺度	図示	図面番号	6 葉之内 2
会社名			
事務所名	多気町		

A2橋台沓座拡幅詳細図

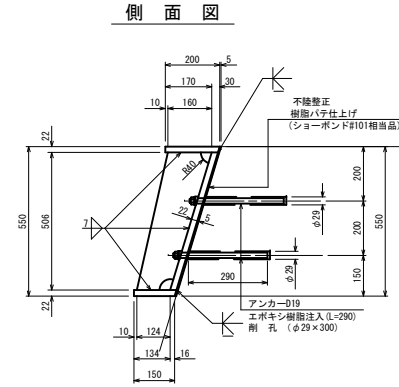
正面図
S=1:30



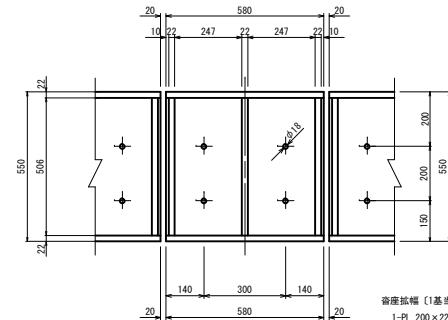
断面図
S=1:20



鋼製ブラケット詳細図
S=1:10

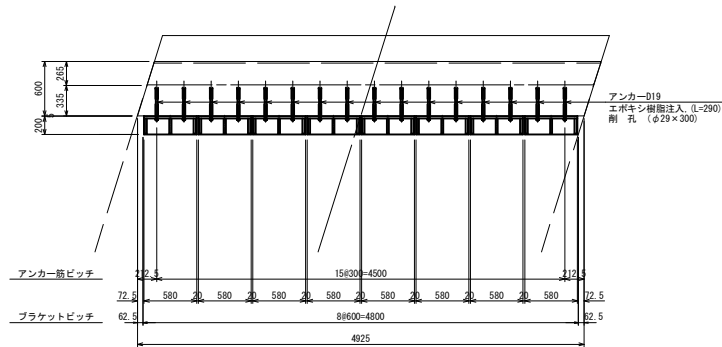


沓座拡幅詳細図
B=580

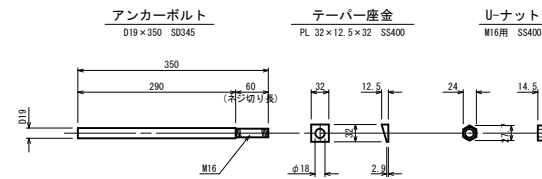


沓座拡幅 (1基当り) N=8基
 1-PL 200×22×580
 3-PL 275×22×506
 1-PL 157×22×580
 1-PL 580×22×535
 4-Anc Bolt D19×350 (S3045, NH付)

平面図
S=1:30



アンカーボルト詳細図
S=1:5



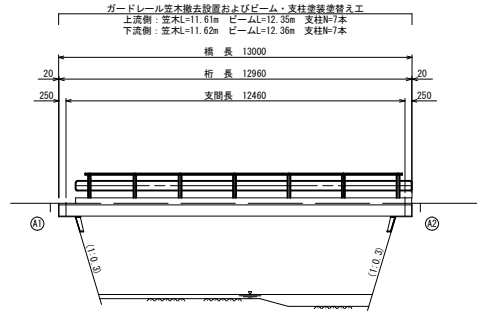
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 鋼材は全て溶融亜鉛メッキを施すこと。
ただし、アンカーボルトはネジ部のみとする。
付着量は、鋼材 JIS5641 HDZ55
アンカーボルト, Nut, Washer JIS5641 HDZ55
3. ブラケットの取付及びアンカー孔の位置については、
現地再確認後、確認すること。
4. 施工にあたっては事前に鉄筋探査を行い、鉄筋を切断
しないようにすること。
5. アンカー筋は、150以上の定着長を確保すること。
6. () 内は、参考値とする。

工事名	平成30年度 社会資本整備総合交付金事業 松本橋 橋梁修繕耐震補強工事		
図面名	A2橋台沓座拡幅詳細図		
年月日			
尺度	図示	図面番号	6 表之内 3
会社名			
事務所名	多気町		

松本橋 修繕工一般図

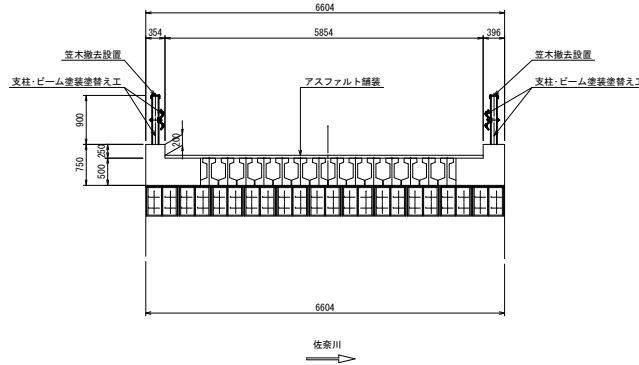
側面図

S=1:100

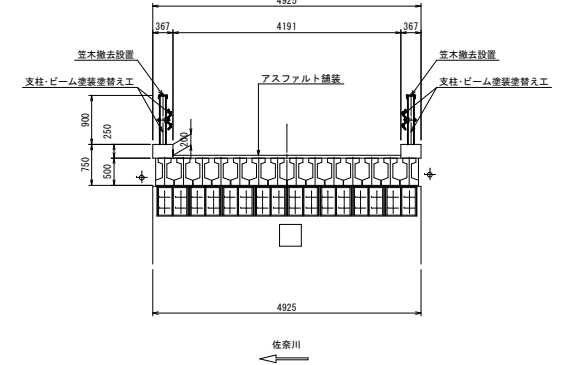


正面図

S=1:50



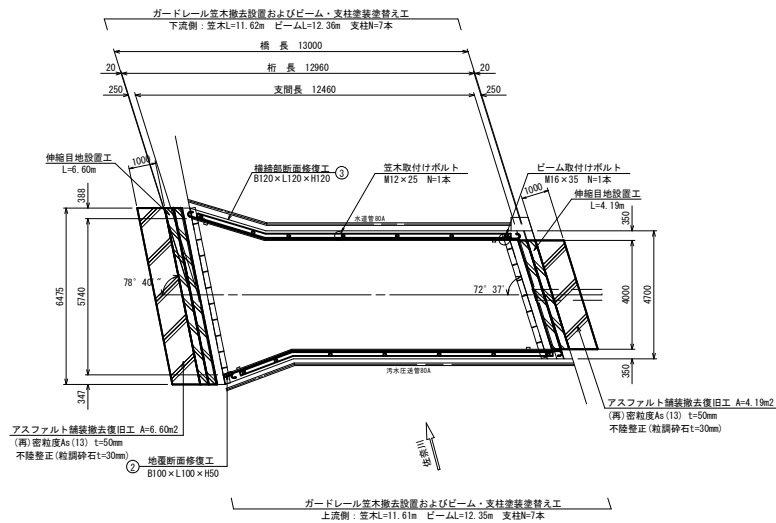
A2橋台



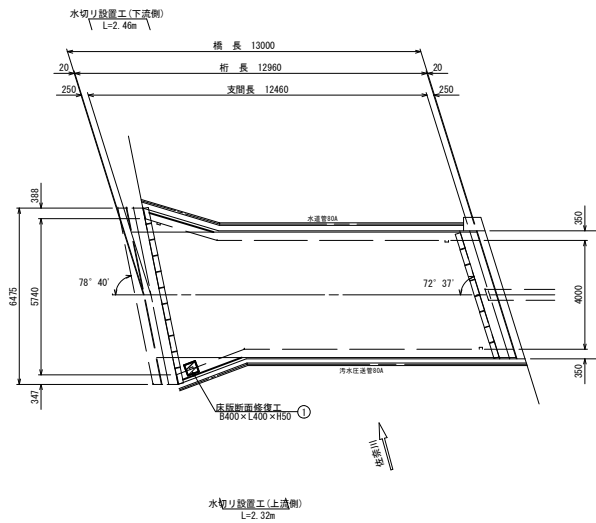
平面図

S=1:100

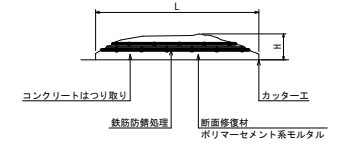
上面



下面



断面修復工詳細図



- ※ 断面修復については修復箇所の周囲にコンクリートカッターを使用すること。
- ※ なお、コンクリートカッター使用時に鉄筋を切断しないようにすること。
- ※ 断面損傷部の補修においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
- ※ 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議すること。
- ※ 鉄筋防錆処理については、カッターワイヤー等で十分に鉄筋をケレンした後、水洗いを行い下地及び鉄筋を清掃する。
- ※ 防錆材は鉄筋に均一に塗布する。

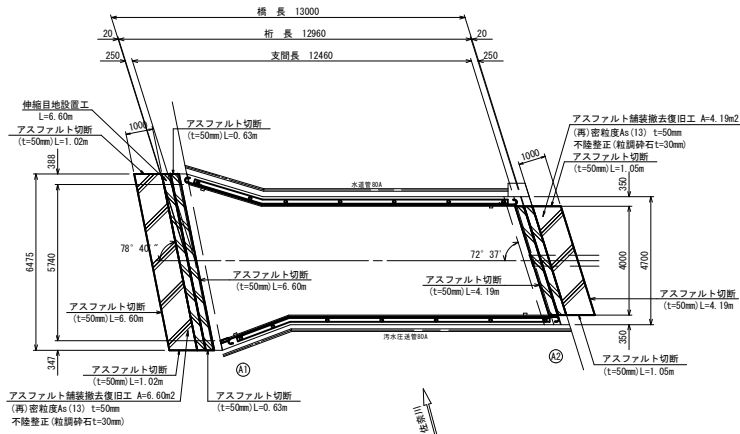
設計条件

橋	橋	-
上部工形式	PC床版	
橋長	13.000m	
桁長	12.960m	
支間長	12.460m	
全幅員	4.700~6.475m	
有効幅員	4.000~5.740m	
斜角	A1橋台	78° 40'
	A2橋台	72° 37'
舗装	アスファルト舗装	
支承	ゴム支承	
橋台	重力式(推定)	
橋基礎	-	

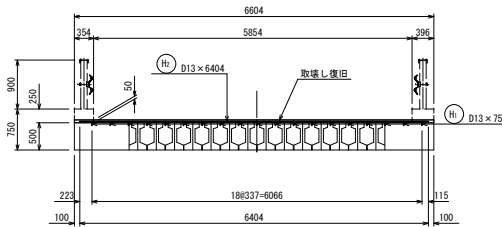
工事名	平成30年度 社会資本整備総合交付金事業 松本橋 橋梁修繕耐震補強工事
図面名	修繕工一般図
年月日	
尺度	図示 図面番号 6 裏之内 4
会社名	
事務所名	多気町

修繕工詳細図

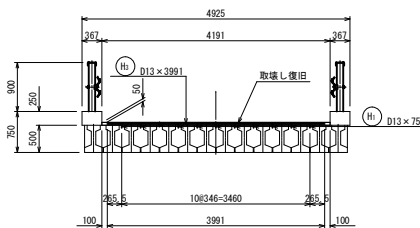
平面図
S=1:100



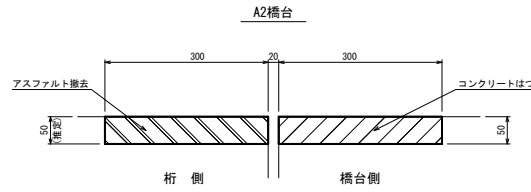
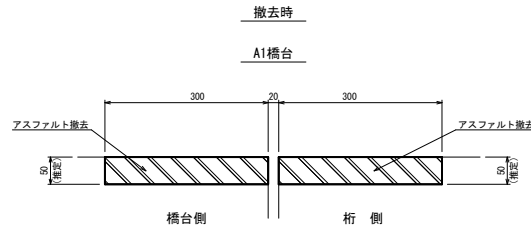
A1橋台
S=1:50



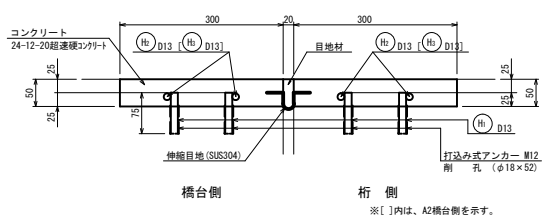
A2橋台
S=1:50



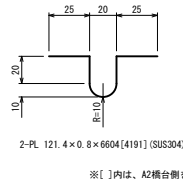
伸縮目地設置工
S=1:5



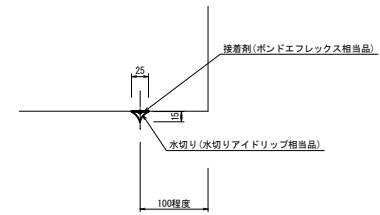
設置時



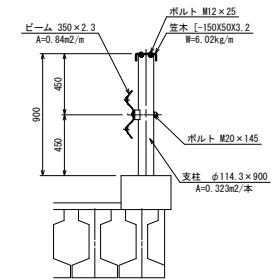
伸縮目地詳細図
S=1:2



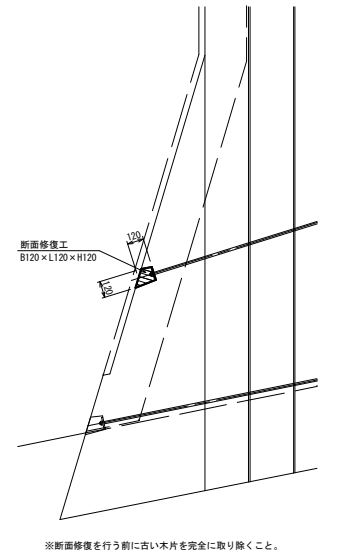
水切り設置工詳細図
S=1:4



ガードレール詳細図
S=1:20



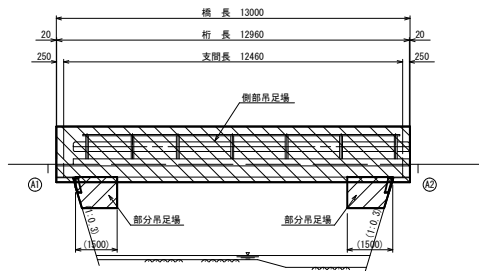
横締部断面修復工③詳細図
S=1:20



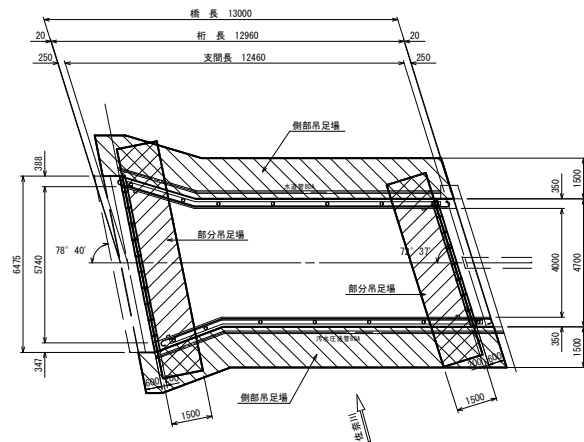
工事名	平成30年度 社会資本整備総合交付金事業 松本橋 橋梁修繕耐震補強工事			
図面名	修繕工詳細図			
年月日				
尺度	図示	図面番号	6	葉之内 5
会社名				
事務所名	多気町			

仮設足場工 参考図

側面図
S=1:100



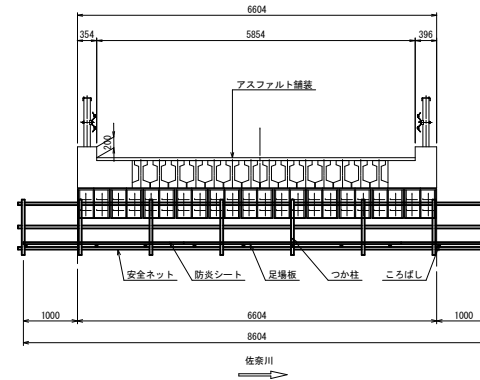
平面図
S=1:100



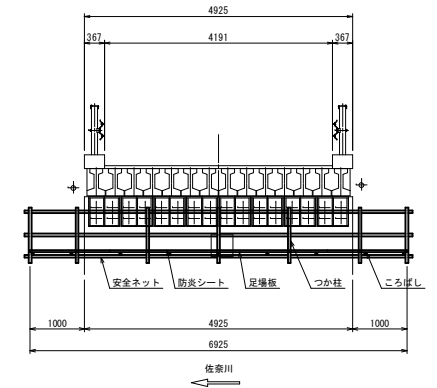
正面図
S=1:50

部分吊足場

A1橋台

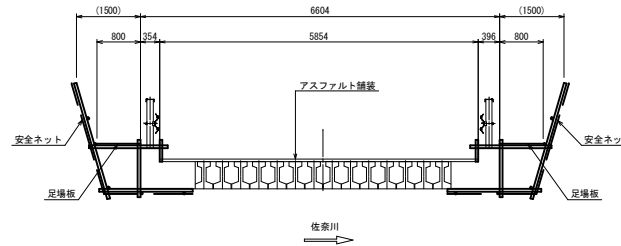


A2橋台

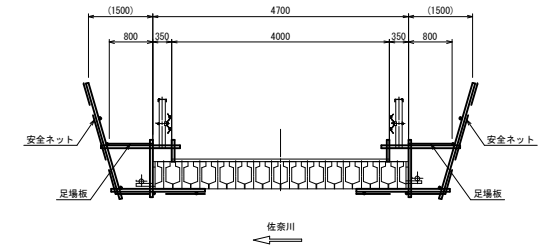


側部吊足場

拡幅部



標準部



工事名	平成30年度 社会資本整備総合交付金事業 松本橋 橋梁修繕耐震補強工事				
図面名	仮設足場工 参考図				
年月日					
尺度	図示	図面番号	6	頁之内	6
会社名					
事務所名	多気町				